

平成 29 年 10 月 13 日
株式会社幹細胞&デバイス研究所
<http://scad-kyoto.com/>

「京都産業21 平成29年度地域産業育成産学連携等推進事業」 採択のお知らせ

当社は、京都府の公益財団法人である「京都産業21」が実施する「平成29年度地域産業育成産学連携等推進事業」の交付先に採択されましたので、お知らせいたします。

「地域産業育成産学連携推進事業」は、エネルギー・健康医療・食糧・インフラ・教育・文化等が組み合わさった複合的な社会システムであるスマートコミュニティ形成に係る研究領域において、国の競争的資金等を獲得して産学連携による本格的な共同研究開発プロジェクトを実施しようとするグループに対して、プロジェクト組成のための取組（オープンセミナー・研究会等の開催や基礎実験等の実施など）に必要な資金支援等を行う制度です。

当社は、「iPS 細胞を用いた神経毒性評価系の実用化に向けた技術開発」を、国立研究開発法人理化学研究所バイオリソース研究センターiPS 創薬基盤開発チームと連携して実施する事業計画を京都産業 21 に提案しておりましたが、採択件数 11 件の一つとして採択されました。今後、当社では、神経毒性評価系の実用化に向けた実験系の構築とスループット向上のための技術開発を進めてまいります。また、本技術開発の成功の暁には、事業規模の拡大によって新たな雇用を創出し、地域社会にも貢献してまいりたいと考えております。

当社は今後も技術の開発と改良に努め、実用化へ向けた事業化展開を推進することで、「幹細胞がもたらす健康社会の実現」に向けた貢献を進めてまいります。

今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

京都産業21 平成29年度地域産業育成産学連携推進事業の採択テーマ一覧：

https://www.ki21.jp/josei/chiikisangyou/saitaku_H29.pdf

【株式会社幹細胞&デバイス研究所(SCAD)について】

株式会社幹細胞&デバイス研究所(Stem Cell & Device Laboratory, Inc. 略称 SCAD)は、多能性幹細胞関連技術とナノテクノロジー／マイクロエンジニアリングに強みを持つ京都大学発のベンチャー企業です。

当社は、京都大学物質・細胞統合システム拠点(iCeMS)の設立拠点長である中辻憲夫名誉教授らの研究成果を活用する企業として 2014 年に設立されました。設立後に当社が独自に開発した改良技術を加えて、心筋等の細胞デバイスの開発・製造・販売を行っています。緻密に配向制御したナノファイバー上で培養することで多数の細胞を一方向に配列させ、実際の生体内組織に類似した三次元多層構造を自律的に形成させることができます。この当社のコア技術により作製される各種細胞デバイスは高い成熟性と機能性を有することが示されております。

当社は先進的な細胞製品とそれを用いた評価系の提供を通じて、世界中の病気で苦しむ人々に一刻でも早く新薬を送り届けられるように、創薬プロセスの高度化と効率化に貢献することを使命として、技術開発と事業化に取り組んでいます。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社幹細胞&デバイス研究所 管理部門 千秋

TEL: 075-744-1114; E-mail: scad.info@scad-kyoto.com